

日本学術会議  
臨床医学委員会 子どもの成育環境分科会（第25期第12回）  
議事録

日時：令和4年7月4日(月) 18:00～19:00

場所：遠隔会議(zoom)

出席者：山中（委員長）、西田（副委員長）、相澤、浅野、伊香賀、大倉、神吉、斎尾、定行、都築、中坪、三輪、宮地、湯川、吉野、水口（敬称略）

冒頭に山中分科会長から、本日の議事として、7/23に開催予定のシンポジウム（最終案）の説明があった。以下のとおり、それに対する意見・コメントが出された。

- 子ども環境学会の後援の承認が出た。
- 日本学術会議のホームページでこのシンポジウムは見えにくい。
- ピックアップイベントという目立つようにする工夫はあるが、このイベントは普通のイベントになっている。全部が、ピックアップとはならない状況がある。やむを得ない点もある。
- 実質としては、素晴らしいシンポジウムなので、学術の動向にも企画を提出してほしい。来年から形式が変わる予定で、まだ、どういう形になるかは不明な面がある。8月に編集委員会がある。そこを目指すと良い。いろんなところにチャンネルがあるから、実現したシンポジウムである。
- ポスターは、時間がずれているので、情報を修正してほしい。
- できるだけ多くの人に聞いてもらいたい、どこで広報するか？
- NPO、地方議員連盟、消費者団体などには、アナウンスした。
- 保育の分野にもアナウンスしてほしい。
- 看護系の分野には、アナウンス可能である。次回からは、看護の分野にも初めからアナウンスしてほしい。
- 保育系の分野にはアナウンス可能である。
- 講演者とは、事前打ち合わせをする予定である。
- 今回は、見解を出す前に、意見交換を行うためのシンポジウムとして位置付けている。見解ができれば、再度、シンポジウムを開催したい。
- 7月には、見解案を出すグループもある。見解の申出書を出す必要があるなので、それもそろそろ出した方が良い。

以上の議論を行い、閉会となった。